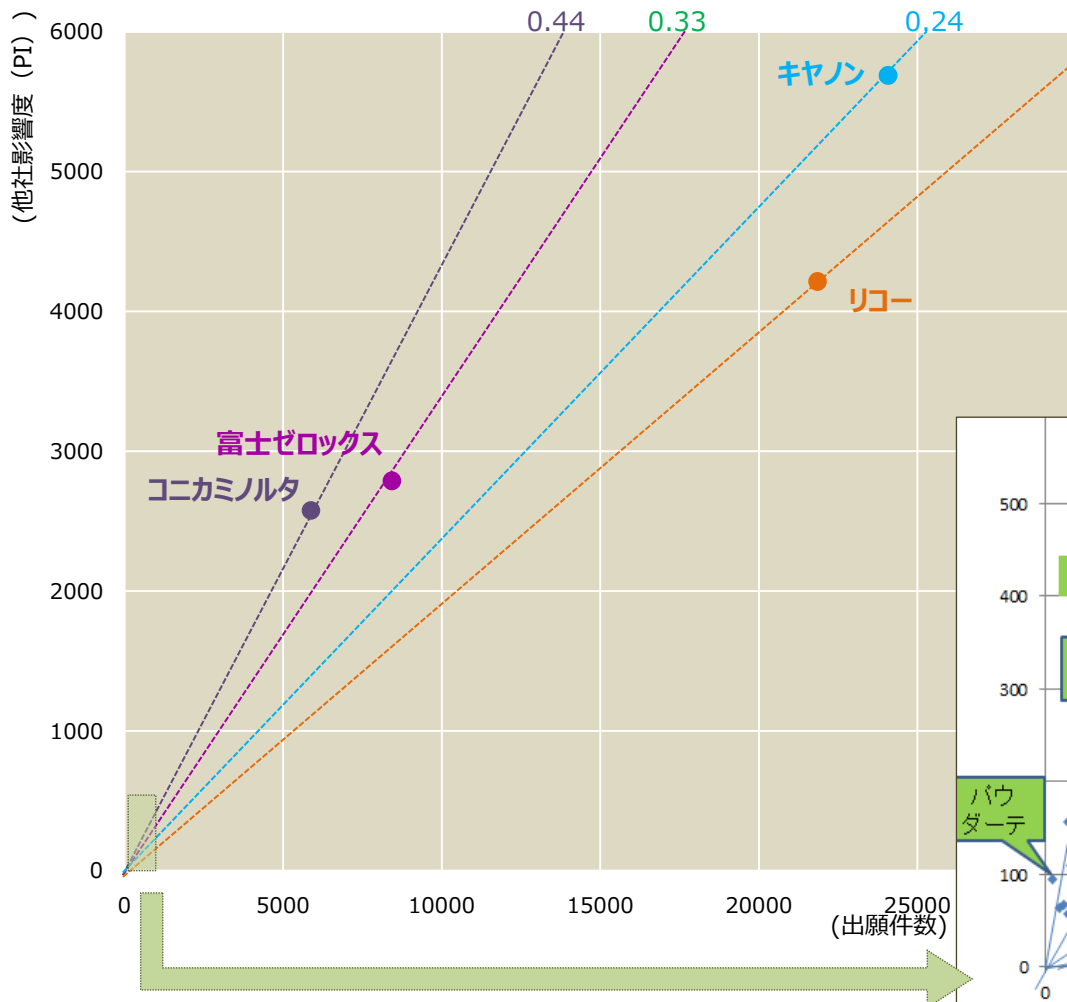
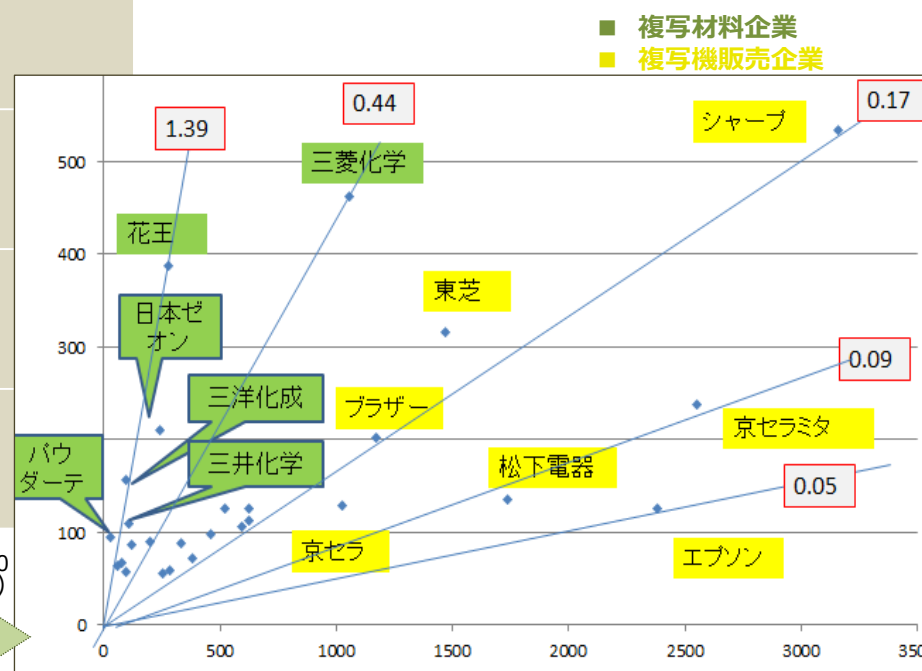


1-1 複写業界の企業別他社影響度 (PI) と出願効率 (PIE) 分析

【図表】複写業界の企業別他社影響度 (PI) と出願効率 (PIE)



【図表】複写機業界4強以外の状況 (拡大)



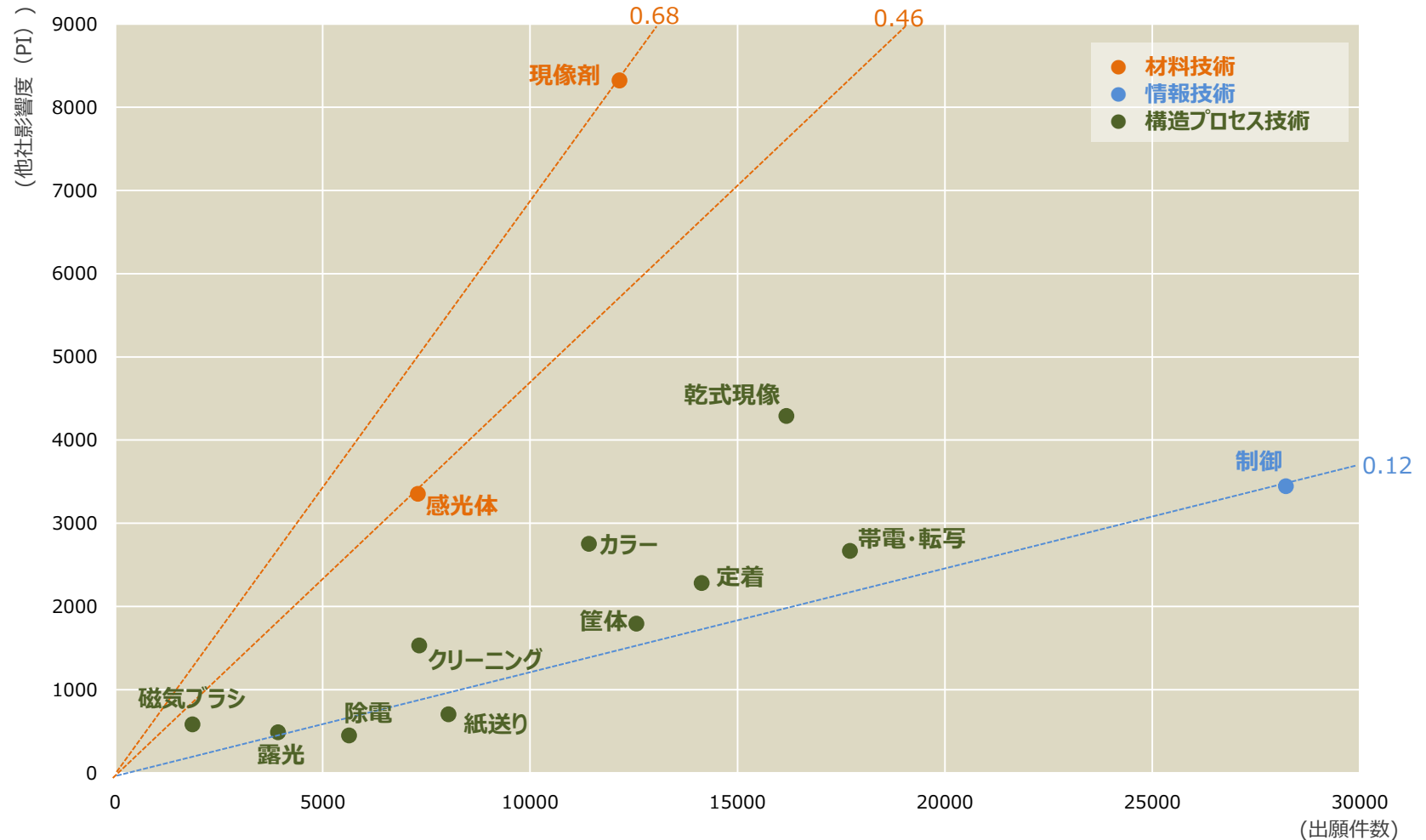
1-1-1

概観

他社影響度の総合値は、キヤノン、リコー、富士ゼロックス、コニカの順となっているが、出願に対しての他社影響度の効率は、コニカと富士ゼロックスが勝っている。右下に示す拡大図では、複写材料企業が複写機販売企業に比較して出願効率が高いことが示されている。特に花王は他社影響度と特許出願効率が、材料（トナー）に関する研究特許出願の効率が非常に高いといえる。

2-1 複写業界の技術別他社影響度（P I）と出願効率（P I E）分析

【図表】複写技術における技術テーマとPI値、出願件数



2-1-1

概観

現像剤技術は、総合的な後願影響度（P I）が高く、出願効率（P I E）も高い。一方制御技術は出願数は多いが、P Iは高くなく、出願効率（P I E）も低い傾向にある。プロセス構造技術の中では、乾式現像技術の重要度が高いが、帯電転写技術は相対的に出願効率が低い。